



裾野市立富岡中学校
学校だより

令和6年5月30日

第 2 号

仲間との絆を深めた学年行事

富岡中では、生徒の活動に合わせて、1年間に4つのステージを設けています。第1ステージは「出会い」のステージと位置づけ、仲間づくりに力を入れ、教育活動を進めてきました。第1ステージの締めくくりとして、各学年の宿泊行事が行われました。

1年生は、「心を一つに！ 仲間との絆を深め 思い出に残る宿泊教室にしよう！」のローガンのもと、三島市立箱根の里で1泊2日の宿泊教室を行いました。1日目の夕方から2日目の朝にかけて天候が崩れましたが、ほぼ計画通りに進めることができました。富岡中は、ご承知の通り、富一小・富二小・千福が丘小の3校から入学してきます。新たな仲間と共に、ハイキングやキャンドルサービス、カレー作りなど、力を合わせて活動を行うなかで絆を深めました。これからの3年間の学校生活で、さらに良き仲間となっていくことでしょう。

2年生は、「新しい未来へ ～ It's the Beginning～」のローガンのもと、南伊豆町にある横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園で2泊3日の自然教室を行いました。富岡地区は富士山や愛鷹山のふもとに位置します。どちらかというと“山”に囲まれて生活していますが、今回の自然教室では、“海”を感じる活動をたくさん行いました。干物づくり、カッター、シーカヤック、浜辺でのレク、ビーチクリーンアップなど、普段は体験できない活動を仲間と共にやることを通して、絆を深めました。実行委員を中心に「自分たちで創り上げる」活動を行うことができました。

3年生は、「～京都・奈良で最高の仲間と思い出をつくろう！～“蒲公英軍”いざ出陣！」のローガンのもと、奈良・京都方面に2泊3日で修学旅行にでかけました。1日目は、学年全体で法隆寺、薬師寺、興福寺を見学し、奈良公園では班別研修を行いました。ガイドさんやお坊さんの説明に気持ちよく反応し、とても温かい雰囲気で見学を行いました。2日目は公共の交通機関を利用して、3日目はタクシーを利用して京都市内を班別でまわりました。当日だけでなく、準備の段階から仲間との話し合いをしっかりと重ね、力を合わせる姿が見られました。一生の思い出となる3日間になったことでしょう。

3学年とも他者との協働をしっかりと重ね、「熱く温かい」活動を繰り返すことができました。この他者とかかわる力はこれからの社会で活躍するためにはなくてはならない力です。学校生活だけでなく、これからの人生において、大きく生きることでしょう。

そして、6月3日から始まる第2ステージは、「熱中」のステージになります。熱く温かく、部活動や諸活動青嶺祭などの行事に取り組み、仲間との絆を深めるとともに、主体的な取り組みで自分の良さを伸ばしてほしいと願っています。

第2ステージ『熱中』6月3日(月)～10月7日(月)

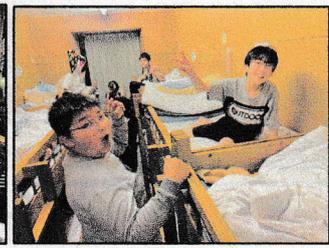
「中体連と青嶺祭に熱く燃える」

※6月8日(土)9日(日)に愛鷹陸上競技場で開催される「静岡県中学校総合体育大会陸上競技記録会東部地区予選会」を皮切りに中体連がスタートします。



行事の準備をする生徒たち

1年 宿泊教室（三島市立箱根の里）



僕は、この2日間で友達と絆を深め、協力することができたと思います。ハイキングやカレーづくりなど、大変なこともいっぱいあったけれど、「仲間と協力」というキーワードを心に入れ、絆を最大限に深められたと思います。

実行委員長 関 恵斗さん

2年 自然教室（南伊豆臨海学園）



2年生の初の大きな行事で、初めて実行委員長になりました。他の実行委員の人たちと準備などを計画して進行するなど、まとめるのは難しかったけどすごく楽しかったです。干物づくりなどいろいろな体験ができて、とても良い3日間でした。

実行委員長 長谷部 結士さん

3年 修学旅行（京都・奈良方面）



修学旅行では京都と奈良を訪れました。歴史ある寺社の風情や、京都タワーや清水寺から眺めた風景に大いに感動しました。そして、仲間と過ごす研修の時間は最高でした。修学旅行は学年全体にとって思い出深いものになりました。

実行委員長 加藤 蒼太さん

話し合っていますか？ ～安全で安心なインターネット利用のために～

インターネットやスマートフォンは、身近なものになりました。次の時代を生きる子供たちが新たな機器やサービスに対応し、安全に賢くインターネットやスマートフォンを利用するために、利用状況の把握に努め、確かな見届け及び「家庭のルール」を作りましょう。

＝インターネットやスマホの利用に関するトラブル＝

- ①ネット依存（ゲーム、SNS等のやりとりがやめられない）
- ②ネット被害（個人情報の漏洩）
- ③SNS等のトラブル（書き込み等による誤解）
- ④見知らぬ人との出会い

※中学生でも、加害者にも被害者にもなりえます。学校でも情報モラルに関する教育を進めますので、御家庭でもご指導のほど、よろしくをお願いします。